

【政策テーマ - 1】 連携を強化し、交流を促進する道づくり

【指標 - 1】 日常生活の中心となる都市まで、30分以内で安全かつ安定的に走行できる人の割合（現況値：64% H15年度：67% H19年度：78%）

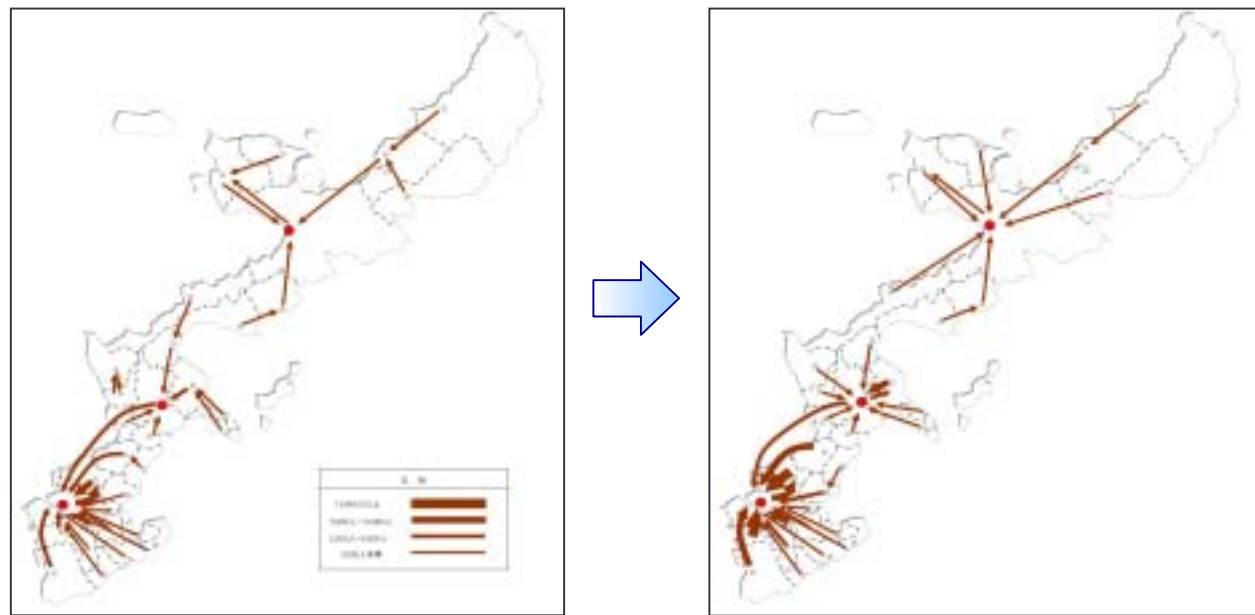
現状と問題点

道路の整備とモータリゼーションの成熟により、日常生活の圏域が行政圏域を越えるようになり、本指標において定義される日常生活の中心都市に主たる交通が集中するようになっている。例えば、通勤・通学交通の流動をみると、那覇市、沖縄市及び名護市に集中し、さらに量的に拡大していることがわかる。

自動車の保有台数は復帰時（昭和47年7月末）の約5.4倍となっており、一世帯当たりの自動車保有台数は約1.8台となっている。また、鉄道のない沖縄では、移動手段の約8割を自家用自動車に依存している。

車両のすれ違いが可能となる道路の割合を示す改良率（車道幅員が5.5m以上に改良された道路延長の全道路延長に対する比率）は約64%であり、特に市町村道で約58%と低く、日常的な移動の安全性や快適性を損ない、県民生活に影響を与えている。

沖縄本島の人口約119万人のうち、安定到達人口¹は約76万人（64%）で、安定到達不可能人口²は約31万人（26%）、30分圏外人口³は約12万人（10%）となっている。



昭和50年 平成12年

図 沖縄本島における通勤・通学流動の変移

出典：国勢調査

講じる施策や事業

関連する施策・事業	平成15年度の主要事業・施策	平成15年度供用予定箇所
幹線道路ネットワークの整備	<ul style="list-style-type: none"> 一般国道58号恩納バイパス 一般国道58号恩納南バイパス 一般国道329号与那原バイパス 一般国道329号南風原バイパス 一般国道331号糸満道路 一般国道331号豊見城道路 	<ul style="list-style-type: none"> 一般国道331号豊見城道路

表 沖縄県の自動車保有状況

項目	昭和47年7月末	平成12年3月末	伸び率
自動車保有台数(千台)	152	817	5.38
人口(千人)	981	1,325	1.35
世帯数(千世帯)	237	461	1.95
人口1人当たりの保有率(台/人)	0.15	0.62	4.13
一世帯当たりの保有率(台/世帯)	0.64	1.77	2.77

出典：人口・世帯数：「住民基本台帳人口要覧（平成12年）自治省行政局」
自動車保有台数：「業務概況（平成12年版）沖縄総合事務局 陸運事務所」

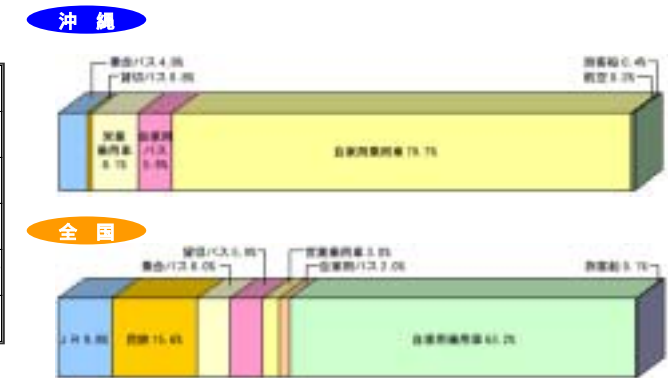


図 機関別旅客輸送分担率(%)

出典：H11年度貨物地域流動調査・旅客地域流動調査

表 県内の道路改良率

道路種別	路線数	実延長(m)	改良延長(m)	改良率(%)
一般国道計	9	460,525	453,359	98.4
一般国道指定区間	(2) 5	300,119	300,119	100.0
一般国道指定区間外	(2) 6	160,406	153,240	95.5
県道計	0	994,386	855,197	86.0
主要地方道	25	390,341	350,132	91.2
一般道路	116	604,045	499,065	82.6
合計	9	1,454,911	1,308,556	89.9
市町村道	14,577	6,045,476	3,487,678	57.7
総計	0	7,500,387	4,796,234	63.9

出典：沖縄県道路建設課ホームページ

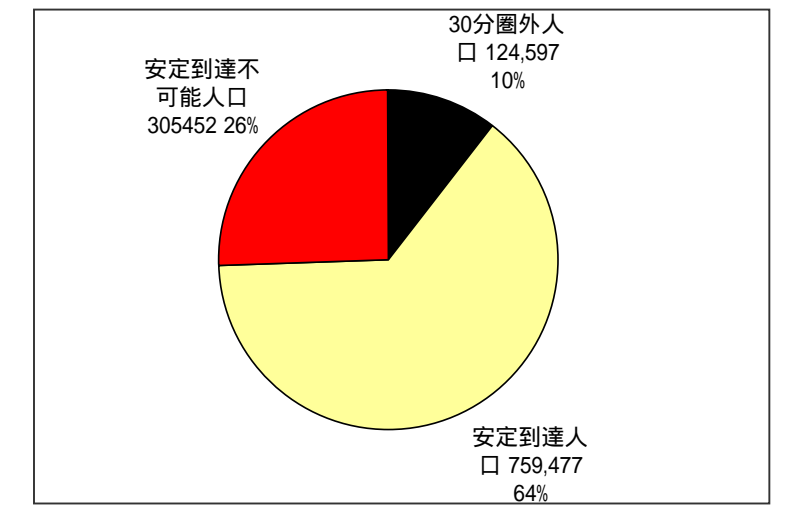


図 自動車でもっとも中心となる都市まで移動できる人の割合

- 1：安定到達人口とは
日常生活の中心となる都市まで、30分以内で安全かつ安定的に移動できる人口
- 2：安定到達不可能人口とは
日常生活の中心となる都市まで、30分以内で到達できるが、安全かつ安定的に移動ができない人口
- 3：30分圏外人口とは
日常生活の中心となる都市まで、30分以内で到達できない人口